



立教大学数理データサイエンス教育プログラムが始動！

2025年度秋学期からはじまる「立教大学数理データサイエンス教育プログラム」は全学共通科目からなる教育プログラムです。本プログラムでは「リテラシー」「応用基礎」の二つのレベルでデータサイエンスやAIに関する知識・技術を学びます。文部科学省が認定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に2026年度から申請予定で、それぞれ指定された対応科目を履修することで大学からプログラムの修了証が発行されます。

プログラム対応科目

リテラシーレベル: データサイエンス入門

応用基礎レベル: データサイエンス応用、多変量解析入門(Introduction to the Multivariate Analysisでも可)

今回は新設される二つの科目「データサイエンス入門」「データサイエンス応用」についてご紹介します！



データサイエンス入門

— データを読み解く基礎力を身につける

この授業は、データサイエンスの基礎となる統計学と数理的思考を身につけることを目的とした導入科目です。

🎯 授業の目標

- ✓データの基本的な分析手法を理解し、ExcelやRを用いて自ら実践できる
- ✓現実の課題に対するデータサイエンスの応用事例を知り、その意義を説明できる
- ✓機械学習の基礎概念を理解し、その可能性と限界について考察できる

📣 こんな学生におすすめ

- データやAIに関心があり、文理を問わず基礎から学びたい方
- データサイエンスを初めて学ぶ方、または将来的に応用を視野に入れている方
- 実社会でのデータ活用や倫理的側面にも関心がある方

「データサイエンス応用」との接続も意識した設計となっており、基礎から応用へと段階的に学びたい学生にとって最適な導入科目です。



データサイエンス応用

— データとAIの過去・現在・未来を学ぶ

この授業では、データサイエンスとAIの歴史的背景と最新動向を学びながら、理論と実践の両面から、応用力と倫理的思考を身につけることを目指します。

🎯 授業の目標

- ✓データサイエンスとAIの発展過程を歴史的に把握し、その技術的背景と社会的インパクトを理解する
- ✓機械学習／深層学習／強化学習といった手法の基礎的理論を学ぶ
- ✓生成AIを含む最新のAI技術の基本概念を習得し、自分の専門分野への応用可能性を考察する
- ✓データとAIを活用する際に不可欠なモラルや倫理観について学び、社会実装のための視点を養う

📣 こんな学生におすすめ

- データやAIに関心があり、文理を問わず基礎から学びたい方
- 自分の専門分野にAIを応用したいと考えている方
- 社会的・倫理的な観点から技術を捉える力を身につけたい方

「データサイエンス入門」をあわせて履修することで、より深い理解が得られます。社会と技術の接点に関心を持つすべての学生におすすめの科目です。

本科目ではデータを活かして活躍するビジネスパーソンへのインタビュー動画も配信される予定です！

スポーツの現場では、選手の感覚と指導者の表現との間に乖離が生じてしまうことがよくありました。しかし、最新機器で「測る」ことで、主観と客観の間をデータという共通言語で結びつけられるようになりつつあります。今のスポーツ界のようなデータサイエンスが新たな価値を生む世界に皆さんも挑戦してみませんか？
(元プロ野球選手(東北楽天イーグルス)、立教大学野球部コーチ、立教大学OB)



戸村健次さん

CSIでは統計分析やデータサイエンスの学外コンペティションを紹介しています。
これまで学んできた統計・データ分析のスキルを腕試ししてみませんか？

統計データ分析コンペティション2025 (独立行政法人統計センター)

地域別の統計をまとめたSSDSE(教育用標準データセット)などの統計データを分析した論文を募集し、アイデアと解析力を競うコンペティションです。受賞論文は、部門ごとに「総務大臣賞」、「優秀賞」、「統計数理賞」、「統計活用奨励賞」等を決定します(2025年10月20日頃に発表予定)。

対象：高校生・大学生・一般

エントリー期間：

2025年 5月9日(金)～8月8日(金)

<https://www.nstac.go.jp/statcompe/>



第9回 和歌山県データ利活用 コンペティション (和歌山県)

和歌山県が開催するデータを活用した行政課題の解決アイデアを募集するコンペティションです。今年度は「デジタル化が進む社会における持続可能な地域づくり」をテーマに、データを利活用したアイデアを募集します。大賞には商品券20万円、データ利活用賞には商品券5万円、政策アイデア賞には商品券5万円が授与されます。

対象：高校生・大学生

エントリー期間：

2025年 4月1日(月)～10月9日(木)

https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/competition/2025_9.html



マーケティング分析コンテスト2025 (野村総合研究所)

野村総合研究所が調査を行った消費者マーケティングデータを提供し、データ分析による斬新なビジネスの法則、マーケティング指標等を導き、その内容を競うコンテストです。本年度のコンテストでは、「実務に活かすマーケティング分析」をテーマに掲げました。データ分析を通じて得られた洞察を、実際の企業広告やマーケティング活動に活かすことができる研究成果を募集しています。

対象：年齢・国籍・職業(社会人・学生)不問
(グループでの応募も可能)

エントリー期間：

2025年 6月2日(月)～9月30日(火)

<https://www.is.nri.co.jp/contest/2025/index.html>



地方創生☆政策アイデアコンテスト2025 (内閣府)

内閣府と経済産業省が運営している地域経済分析システム(RESAS)等を活用し、地域課題の分析を踏まえた地域の未来をより良くする政策アイデアを募集するコンテストです。地方創生やデータ利活用に関心を持つ学生や地方公共団体職員、民間企業の方など、どなたでもご応募が可能です。12月上旬に開催される最終審査会では、応募者が審査員に対して直接プレゼンテーションを行います。地方創生担当大臣賞(副賞あり)、優秀賞(副賞あり)ほか、協賛企業賞などが授与されます。

対象：学生・地方自治体職員・民間で働く社会人など
(グループでの応募も可能)

エントリー期間：

2025年 6月10日(火)～9月25日(木)

<https://contest.resas-portal.go.jp/>



● 関連情報

CSIではほかにも、社会調査士や統計検定、グローバル教養副専攻のデータサイエンスコースなど、資格や副専攻の取得をサポートしています。下記のQRコードにアクセスしていただくと詳細をご確認いただけます。ご質問がある場合には池袋キャンパス8号館4階にある社会情報教育研究センターの窓口にお気軽にお立ち寄りください。

社会調査士資格とは？



統計検定とは？



グローバル教養副専攻・
データサイエンスコースについて



■ News Letter 第15号 2025年7月発行

- 編集責任者：砂川浩慶 (CSIセンター長)
- 編集者：山口和範 (統計教育部会)
- 編集・発行：社会情報教育研究センター (CSI)

- Tel : 03 - 3985 - 4459
 - Email : csi-info@rikkyo.ac.jp
 - URL : <https://spirit.rikkyo.ac.jp/csi>
- 立教大学 池袋キャンパス 8号館4階

